常磐毎日新聞
日刊
三月十八日夕刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治 福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は北西の風 晴
明日は北西の風 晴

櫻に魁けて
武勳輝く若松少將
郷土に偉名を飾る
廿七日平町で盛大な祝賀宴

騎兵第二旅團長陸軍少將若松晴司閣下（本郡出身）は廿六日午前九時上野驛發で歸郷するが今回の歸郷は出身校平町平小學校の（平第一校の前身）同窓の友平商工會長山崎清三氏懇請を入れて錦を郷里に飾ることになつたもので滯郷中の豫定は廿六日墓參を濟し翌廿七日は縣社子鍬倉神社を參拜後大越中佐の銅像に詣で出身校の第一校を訪門、午後五時からは山崎商工會長の外篠山第一校長、藤田郡郷軍分會長、藤井平同分會長、大嶺平青年團長等發起の祝賀を兼ねた歡迎會に臨み、廿八日實家にて祖先の法會を營み夜行で出發すると

因に同氏は人も知る如く赤井村西小川の出身明治三十一年平小學校を卒業後仙臺幼年學校陸軍士官學校に學び、滿洲事變當時は騎兵第二聯隊長として各地に轉戰、勳功を擧げ殊に江口溪の激戰には砲數門を奪取して敵膽を寒からしめ鬼將軍の雄名を走せた本郡出身の現役將官としては最初の人である

尚同氏の愛馬も滿州事變當時同將軍と共に戰線に活躍、名譽の金鵄勳賞を下賜され軍馬としては稀らしい戰功を賞せられて居る

郷土產業の躍進
菜種製油所が設備擴張
搾油機新購入
全國有數の施設

農村工業施設計畫に基づく石城販利組合經營の四倉菜種搾油所は生產者の要望と郡内產業組合、町村農會並に各種團體

聲援の下に一昨年九月開始以來、菜種は昨年度に於て同組合區域内生產額四千六百俵は初年度にも係はらずその全部を取集するを得非常な

好成績を示してゐるが菜種栽培の激增に伴ひ更に事業の擴大を圖ることゝなり新たに搾油機を購入すべく目下協議中である因に

現在の設備は全國菜種生產地の九州北海道に匹敵するもので尚今後の活躍は非常に期待されてゐる

優良穀物の生產者表彰
詮衡方法規定

石城郡穀物共同受檢組合聯合會臨時總會は昨十七日午前十一時から平町丸友ホールに開催△優良穀物生產者表彰詮衡方法の件△大麥檢查奬勵並に穀物改良の質的向上に關する件△昭和十二年度歳入出決算認定の件其他を附議したが優良生產者の表彰は左の如き詮衡方法により嚴重詮衡の上來月中旬花見時を期し表彰式を擧行する

一、第一次詮衡は各受檢組合長これに當り第二次詮衡は穀物檢查所支所出張所に依囑するものとす、第一次第二次詮衡共決定迄は絶對嚴秘に附し第一次詮衡者は本月末日迄に左の事項の全部を兼備せる者の中より別項割當人員に豫備候補者一名を加へて詮衡し所轄穀物檢查所に提出すること、

穀物檢查所第二次銓衡を了りたる時は割當人員數の住所氏名を同支所長に報告し支所長は更に調查の上聯合會長に表彰方推薦す、右内定したる場合は所轄穀物檢查所經由の上受檢組合長へ内達するの順とす

△詮衡の四條件

イ、昭和十一年產にして生產檢查終了のもち玄米、小麥、菜種たること

ロ、相當檢查數量を有したる者（原則として米は三十俵以上、小麥菜種は可成多數）

ハ、米は四等以上、小麥は三等以上、菜種は二等以上に全部合格せるもの、但し米に限り前二項に該當なき時は四等以上合格を八十パーセント以上合格認むるものとす

ニ、斯業に熱心にして誠實の者

二、銓衡者數の割當は右によるものとす

イ、もち玄米は江名町を除き大浦、大野、草野、渡邊、勿來各二名其他は各町村一名

ロ、小麥菜種は受檢數多き町村の中より各五名以内を銓衡することゝし選出指定町村は不日通知するものとす

漁船は難を免る
警報來に各濱警戒

昨十七日未明から烈風に襲はれた石城地方は同日午前十時半福島測候所の暴風警報を受けると共に所轄警察署から各漁濱に通達極力警戒に務めた結果、漁船の被害は全く無く人家、板塀、樹木等に僅少の被害を蒙つた丈けで難をまぬがれた因に今回の暴風は十六日朝鮮沖合に在つた低氣壓が北上するうち急激に發達、十七日朝に至つて秋田縣沖合を中心に大低氣壓に變化したゝめ福島縣一帶に猛威を揮つたもので當地方は風速最高十七米から十八米半の物凄さであつたと

無免許周旋

神谷村大字鹽字古川九二勞働者募集從事業大平榮太郎（三六）は無免許で昨年十月頃から今年二月迄の間數回に亘り四倉町仲町小林タニ子外五名を桐生方面へ女工に紹介手數料を受取つた事發覺、今十八日平區中島監督判事から營利職業紹介事業取締規則違反で略式罰金二十圓に處された

倉に忍入り
米俵を擔出す
縣刑事課から嚴達

玉川村岡小名地内郷倉の錠を破つて十六日夜十時頃何者かゞ忍び入り糯五俵（價格三十圓）を竊取逃走した届け出に依り目下平署で犯人嚴探中であるが縣刑事課では郷倉を襲ふ犯人のしば〳〵あるのに鑑み農務課と打合せ監視人を置くか錠を嚴にする樣注意を發することになつた

町村選擧の革新
飽迄も肅正强調
紙芝居迄狩立て、
今春の改選對應策

石城郡下町村では昨日の町村石城支會總會で來るべき町村會議員選擧の肅正に關し協議した結果縣の方針に基き左記の如き催しにより各町村步調を合せ肅正の强調を圖ることを申合せた

（一）部落豫選會その他選擧取締りの方針を聽取するため警察官の派遣を願ふこと

（二）講演會並に既往の經驗ある町村長を中心に座談會を開催

（三）紙芝居レコードポスターを以つて徹底的肅正宣傳を圖ること

教育教務會

石城教育部會第五方部教務主任會は十三日午前十時から永戸村合戸小學校で開かれた

永井青年團

永戸村青年團幹部會は十三日午前十時から同村合戸小學校に開き春季總會を四月開催に決定

健保の役員

磐崎村小野田炭礦健康保險組合議員選擧は十四日同礦事務所に行つた結果左記二氏當選した

野木喜太郎、松本甚助

恩師の墓に
額づく兒童等

平第一校は既報の如く彼岸入りの今十八日職員及び各クラス代表兒童が夫々分れて平町に於ける左記物故職員の墓を詣で香華を手向けて慰靈祭を催した

長源寺武川教義、性源寺矢野弘平、大須賀百世、大林寺橋本喜高、永山光吉、大寶寺引地淳四郎、加治鐵雄

縣下聯合
青年總會
四月平町に

縣下聯合青年團總會は四月十七日平町に開催

青年學校校旗作成

城山磐城青年學校は在校生約二百名が發起となり過般來校旗作製中であつたが此程出來上つたので今十八日樹立式を擧行した、尚同校の卒業式は來る二十三日擧行される

天にも響けと
名殘の合唱
けふ磐女校の晴れやかな卒業式

磐城高等女學校の第二十五回卒業證書授與式は既報の如く今十八日午前十時から同校講堂に擧行、型の如く卒業證書及び賞品の授與終つて正木校長の告辭に次いで知事の告辭を學校長代讀、來賓青沼平町長、蓮沼縣議の祝辭あり在校生總代三年正木千鶴子さんの送辭、卒業生總代熊トリ子さんの答辭、卒業生保護者總代平町阿部政右エ門氏の謝辭あり十一時半校歌合唱裡に閉式

磐女優等生の
横顏を覗く

巣立つた磐女校優等賞受賞者は合計十五名であるが中二三の優等生のプロフイルを覗いてみる

熊トリ子さん

平町大町二葉活版所主熊謙次郎氏の次女で、在學中は庭球部の花形選手として活躍した、讀書が唯一の趣味成績は、全科目を通じ平均點數九十點を下つたことがないといふ明敏さ、今後は東京昭英學院に進學西歐文化を取り入れた日本女性を目指して行く……

飯島しげさん

平町字鍛冶町酒商飯島太作氏の次女、數學を最も得意とし、書道と共に秀でた成績は全クラス憧れの的となつてゐた、これも排球部の選手で縣下に誇る常勝軍の一メンバーとして注目されてゐた、前途には教壇に咲く花として祝福され既に福師二部に合格して居る

阿部トシ子さん

地方切つての新進實業家として知られてゐる才媛小路石炭商阿部政右衛門氏の長女スポーツマンとしては前者に劣らず籠球部の主將、かつては神宮豫選に母校「磐女」を背負つて、人も知るキャプテン振りを見せたこともある、國語、圖畫が得意で美的感情が豊か趣味は讀書の外に長唄の稽古に專念し、生花は免許皆傳巣立つ哀愁！けれど前途には洋々たるかな東京女子大の扉が開き待ち構へてゐるといふ

町村長會の
表彰者決定

町村長石城支會春季總會は昨報の如く十七日午前十時から平町會議事堂に開き選擧肅正に關する件その他各項に亘つて附議例年十日の忠魂祭は豫定の如く十三日に變更十二年度豫算として九百七十五圓を計上、更に優良吏員として左記十五諸氏を決定、近く表彰することになつた（括孤内は勤續年數）

四倉町助役長谷川林平（一六年）飯野收入役永山菊治（一三）湯本收入役鈴木信緑（一四）田人組合村書記村田屯（一四）上遠野書記駒木根孝之（一三）平町書記鈴木允（一五）高久村書記薩谷明（一四）小名濱書記長瀨國三郎（一五）同村上保一郎（一三）三阪組合村書記佐久間利三郎（一五）草野村書記大平秀孝（一四）四倉町書記片寄富次（一四）大野村書記荻貞造（一四）下小川組合村書記草野季七（一四）

所得税申告
前年より增加

平稅務署では去る十五日を以て十二年度第三種所得税の申告を〆切つたが申告數は一千四百二十四人で昨年の千二百九十四人に比し百三十人の增加である尚營業收益税は本年は五百七十八名で昨年より三十一名の增を示し地方の經濟好轉を物語つてゐる

定員突破
平商と磐中

既報來る二十日締切の平商入學志願者は目下の處定員百十名に對し百五十五名であるが定員二百五十名の磐中も今十八日二百五十七名に達し定員を突破した

桑樹研究
縣技師指導

蠶業取締平支所では來る二十一日午前十時から小川村上小川地内桑園で桑樹の剪定研究會を開くが當日蠶糸課松本技師が出張これが研究指導に當る筈

共濟備荒
施設督勵

縣蠶業組合聯合會主催の石城郡蠶糸實行組合共濟備荒施設督勵懇談會は來る二十二日午前十時から平町平陽女學校で開催するが同日は縣聯合會から赤澤主事出席、郡下各實行組合長以下幹部百五十名參集の上、同施設の徹底とこれが實行の完璧を期すことゝなつた

奉安庫奉遷

永戸村永井小學校奉安庫は校庭擴張のため十一日同村合戸小學校に一時奉遷する筈であつたが都合で延期、十五日無時奉遷した

女性職場へ
產看受驗者が
ワンサと殺到

平署受付けの產婆看護婦受驗者數は今十八日正午前に百名を突破今月末の締切りまでには百五十餘名に達すべく昨年度の七十餘名を遙かに突破してゐるがこれは近時益々女性の職場進出を物語るものである、因に試驗期日は來月十三、四、五日頃である

受賞兒童
第一校認定

平第一校は今十八日午前八時半から今年度修卒業及び受賞兒童の認定會を開いた

チヤツカリ泥的

盃を嘗めながら
家人の隙を窺ふ
虎になるかと思ひの外
手當り次第盜んで逃亡

茨城縣久慈郡東小澤村字神田村生れ當時住所不定無職萩谷庄一郎（四〇）は去る十四日夜平町五丁目飲食店菊屋こと菊地ヤイ方で飲酒の折家人の隙をうかゞつて同家表座の簞笥からセル外一點價格四圓餘の衣類を竊取、附近の多田井質店に入質費消した外内郷村大字宮字蛭子國井甚三郎方で飲酒の揚句一緒に出た附付馬をまいた餘罪並に同樣無錢飲食數件を自白

共進丸が
暗礁に乘上

烈風中の十七日午後二時頃江名町底曳船共進丸（二〇トン）は銚子港に入港の途中川口の暗礁に乘り上げ船底の一部を破壞したが乘組員は無事であつた

△平館 ウエスタンオール、トーキー大河内傳次郎主演「海鳴り街道」オール、トーキー岡讓二、花柳小菊、瀧口新太郎、小杉勇、黑田記代、中田弘二主演特作日本版「浴槽の花嫁」メトロ社「寶島」外東日朝日ニュース
△世界館 軍事映畫オール、トーキー「戰線に吹ゆ」最勝院阿部上人原作「名僧祐天上人記一 料金二〇錢

十八日替り
マネキ

松竹トーキー市川右太衛門主演「文七元結」新興トーキー大谷日出夫主演「虛無僧系圖」 料金三〇錢

平職業紹介所報告

回 求人之部

△農夫 年六、七十圓
△農夫 五十才迄 月給八圓
△雜夫 十七―三十才迄 給十二圓 二人
△粕〆人夫 十七―二十四才 給十二圓 五名

回 求職之部

△看護婦 三十一才 產婆看護學校卒
△女中 三十三才 高一修
△女中 二十二才 高卒
△看護婦 二十四才 高女卒

JOHK 今晩の部

▼後六、〇〇 ピアノとヴアイオリン獨奏 黑田睦子 辻久子
▼後六、二五 實演付趣味講演「土俗信仰おくら遊びの話」小井川潤次郎
▼後七、三〇 講演「東北興業株式會社の事業の現況と將來」金森太郎
▼後八、〇〇 ラヂオ社會面「良心を拾つた男」東山千榮子他
▼後八、二〇 國民歌謠「オペラ」「ふるさとの呼ぶ聲」霧島昇 二葉あき子他
▼後八、五五 義太夫「熊谷陣屋」竹本鐵太夫
▼後九、三〇 時報 ニユース 明日の話題 番組豫告

明日の部

▼前一〇、三〇 母の時間「子供の異常性格に就て」正木正
▼後〇、〇五 落語「猫の忠信」立花家花橘
▼後〇、三〇 國民歌謠 大阪放送合唱團
▼後二、〇〇 婦人講座「日本女性文化史日本女性と社會的活動」河崎ナツ
▼後五、三五 新講談「梁川庄八」富田廣重
▼後六、〇〇 お話と郷土童謠
▼後六、二五 俚謠講座「關東信越地方」町田嘉章
▼後七、三〇 講演「江戸時代の經濟學者」晃文炳
▼後八、〇〇 謹迎三笠宮殿下を迎へ奉る 菊山宮城縣知事の奉迎の辭 南材木町校兒童の齊唱 騎兵第二聯隊有志の同聯隊軍旗の歌
▼後八、二五 尺八合奏 細田楊山他
▼後八、五〇 小唄 菊地まき
▼後九、〇〇 管絃樂「ウイーン舞曲集」ボラツク指揮、日響

日本劍風連

大島多慶夫作
井川洗厓畫
（帝展）布施長春畫
村瀨容映畫

（禁上映上演出版）

〔第百四回〕……
靈仙[illegible]の[illegible]（二）

「この[illegible]は[illegible]の[illegible]だ」

と、この[illegible]はひそかに[illegible]つてゐた。そして[illegible]し江戸から同志となるべきものを選ぶときは、[illegible]の[illegible]る[illegible]を用ひてから、どこといふ[illegible]を失はせて[illegible]いてからにしてゐたのであつた。

「[illegible]の[illegible]」

と、[illegible]は呼んでゐた。

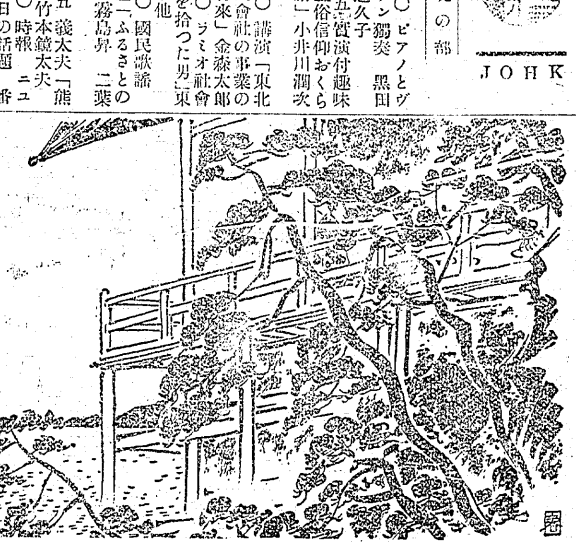
[illegible]ではあるが、そこに[illegible]な[illegible]が[illegible]かれてゐた。その[illegible]の[illegible]になつてゐる[illegible]で、[illegible]の[illegible]を[illegible]ねた[illegible]、[illegible]は片[illegible]とつて[illegible]がつてゐる佐久[illegible]之[illegible]、[illegible]・[illegible]などの[illegible]をあつめて[illegible]をこらしてゐる。

「とにかく[illegible]になつて、[illegible]の[illegible]はよつぽど[illegible]しくなつてゐた。それに、[illegible]ひがけない[illegible]が[illegible]になつて[illegible]つたので、われ〳〵の行[illegible]も[illegible]はつきりと[illegible]に[illegible]つて[illegible]つたから、とても[illegible]は[illegible]ない。そのことは[illegible]もよく[illegible]して[illegible]は[illegible]と[illegible]る」

と、まづ[illegible]の[illegible]は[illegible]ろに[illegible]な[illegible]で[illegible]を[illegible]つた。

「[illegible]太。[illegible]は[illegible]くまでも[illegible]むべき[illegible]ぢや。[illegible]の[illegible]りといたして[illegible]をまづ、[illegible]つてなければ[illegible]の[illegible]は[illegible]まらぬ」

かう[illegible]そのものを、[illegible]や[illegible]にあらはしてゐる佐久[illegible]之[illegible]は、[illegible]〳〵といかにも[illegible]さうに[illegible]をふるはせていふ。



「[illegible]し、この[illegible]の[illegible]に[illegible]づけてやる」

と、[illegible]之[illegible]といふ[illegible]が[illegible]に[illegible]の[illegible]を[illegible]して云つた。

ちつと[illegible]み[illegible]に、[illegible]ごとか[illegible]く[illegible]をしてゐた[illegible]の[illegible]をヂロリと[illegible]つてしづかに口をひらく。

「キャピテ（キャプテンの[illegible]）[illegible]の[illegible]された[illegible]本の[illegible]平五左衛門といふ[illegible]はいかゞいたされたな」

「[illegible]い男だ。どうかしてあんな[illegible]の[illegible]つ[illegible]を[illegible]方につけたいと[illegible]つてな」

「まだ[illegible]の[illegible]から[illegible]が[illegible]せぬか」

「[illegible]つてゐる。[illegible]もない。[illegible]は三代[illegible]の[illegible]川[illegible]を[illegible]てるか[illegible]てないかの[illegible]であるからのう」

やゝ久しく[illegible]がつゞいた。たゞ[illegible]にくだける[illegible]の[illegible]が、この[illegible]な[illegible]に一つの[illegible]のやうにひゞく。

もつとも[illegible]はその[illegible]の[illegible]によつて[illegible]の[illegible]を[illegible]もしてゐたのである。

「[illegible]に[illegible]きな[illegible]をもつて[illegible]る[illegible]を[illegible]方につけることは[illegible]な[illegible]ぢやが[illegible]すれば大きな力になるからのう」

と、[illegible]は[illegible]ひ[illegible]したやうにいふ。

「[illegible]もで……？」

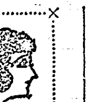
と、[illegible]も[illegible]をうつて

「一つ[illegible]といふ[illegible]の[illegible]を[illegible]て[illegible]つてみたらばいかがでござらう」

「さて」

と、[illegible]は[illegible]で[illegible]をふかく[illegible]た。

家庭と婦人



（婦人の立場から）女を機械視す

岡本かの子

「人間も世の中も機械のやうなものだ」これが前世紀までの考への立て方であつた。たとへさう云ひきれないまでも、機械的に物事を處理する傾向が強かつた。從つて人間も折角生々したところをおしつぶされ、道具的な部分だけが便利につかはれて來た

○

「時代」は時計の振子のやうにうごく。一方へかたむいた振はまた他方へ「人間にも世の中にも、何か生きたものがあるやうだ、決して機械のやうなものではあるまい」から云ふ考へ方の方向轉換を行つた「時代」は、新興學術の情熱を皆その方向へ追ひやる

○

一例を取ると心理學である「人間の精神は精巧な機械仕かけ」であると見なしてゐた舊心理學は、それだけではどうしてもわりきれないものが出來て、その底には底ばくとした潜在意識が横たはつてゐるのだ。在來の見方で不明な點は皆この潜在意識のなす業だと説明するフロイドの精神分析學があらはれて來た。事實この學のおかげで神經衰弱やヒステリーはかなり癒るやうになつた。しかし、フロイドの説は萬事機械を性慾説に持つてゆく。また機械觀的の舊臭が拔けきらない

○

現代においてもなほ、女性を機械視し、肉體を機械視し、戀愛も結婚も機械視し、家庭も妻も機械視する考へ方が一般の風習として存してゐるやうである。しかし、これは前世紀の遺物である。いまや、機械觀を踏み越へ、女性たる上に人間の發資性を見出してゆく事こそ眞のモダンと云へるのである

醜女を美しく 整形科學の誇

まるで夢の様な話だが 現實の姿ですよ

醜貌を質に美貌を得んとした娘さんがかつてあつた、あの時あの娘さんの行爲を完全に笑ひきれた女性が世に幾人あつたでせうか、まことに美こそは女性の生命でありあらゆる婦人は美への追求、獲得に血みどろの苦鬪をつゞけてゐる果敢な戰士であるといへませう、さてここに整形外科醫學、および皮膚美容科學が世紀を乘越えてあらゆる婦人の慾求をみたしうるの日それはもはや誰が美しいのかうつくしくないのかの區別のない日の有様をおもひゑがいてみませうしかもこれは單なる夢ではなく、充分な科學性に裏打され、且つそれ程およばざる遠い將來においてではなく、今日の不可能を明日の可能たらしめるにちがひない科學者の夢であります、では

■脚■ 今日のところ太くそしてまがつた脚を柔らかでもスッキリとさせるには、運動マッサーヂよりほかになく、多少すゝんで長い間ギブスをかけてゐる事ですがこの程度では今日の婦人の希望を滿足させる事は出來ません、こゝで科學は明後日へと飛躍しよう太い大根さながらの脚を、各家庭に備つけのシャワーに毎日うたさせてゐる婦人の異様な風景が見られますこれは電氣を利用してやせるための素地をつくるのですがかくして一定の時日がたち、はじめて病院を訪づれ、脚の細胞を分れつ破壞させる藥のしん透作用によつて脱脂の目的を遂し理想的脚線美の持主がまた一人世にふえるといふわけです、太い不かつ好な手などに對しても同様な療法がおこなはれます

■身長■ 今日ではみぢかい身長をのばすことは殆ど不可能で、遺傳的にさうであるものは絶望といはねばなりません、そこで今日既に用ひられてゐるホルモン劑を更に一層單位の高い強力なものにすることは容易で、これを遺傳的にひくいとおもはれる少年少女に注射し、はやくから注射をつゞけてその發育の旺盛活潑を期しかくて成長したどんな適齡期の女性もすくなくも背丈のひくさを嘆ずる事はなくなるにちがひありません

■指■ 優美な五本の指を持ちたいとは、いつの世にも變らぬ婦人のねがひでありませう、でマッサーヂの如きこそそくな手段はすたれ、こゝに嶄新なビーナス型五指矯正器なるものが生れ、すなはち兩手を欲するまゝの理想的な指型にいれ、そこでサット超エッキス光線を通ずると、各指はあたかも餅菓子のやうに型のごとくに細胞の排列および性状を變化してゆきます

■眼■ 切開によつて小さい眼を大きく、或は入墨により小さい黑目を大きくまた一重瞼を二重のものにかへる事は既に可能な領域にあり、その他遠からず眼の整形に關するかぎりは誤りうる瞬時のうらみをのこす事はなくなるでせう

■齒■ 既に齒をほこるに何の苦勞がありませう

■ハナ■ 隆鼻術が完全にちかく進歩しつゝあります

以上述べました如く、一般醫學及び整形醫學が發達の極致を來したとき、どんなうつくしからざる婦人もビーナスの如き均整ある麗人と一變するでありませう、その美への錬金術的な鍵は上述の方法と共にはん痕組織を健常組織に變へ得る藥の創製にあります、すなはちメスをくはへると今日必ず傷あとをのこすもので、これさへ殘さぬ藥さへ發見されるなら、あたかも大根をブッタ切る樣に過剰な脂肪組織をきりおとし、すりへらし病的にまで肥滿した婦人をズラリした婦人にかへる事は容易です、しかも既に外科においては臨床的に出血すくなく手術しうるエレクトロ・メッサー（電氣メス）が使用されてをり、これにもし同時にはん痕組織を殘さないための何んらかの化學的藥劑をくはへるならば！であります

…○…

…○…

惱める女性へ

問

許婚のKが妹に愛情を示す様になり惱む姉

…妾は當年二十二になる女です妾のいとこのKとは許婚の間柄でございますが、親と親との間で結ばれたこの約束を妾は全く知らずにゐました、Kは年も相當としてゐて、これまでにたびたび妾に好意をしめされましたが、妾は性來非常に内氣な性質ですし、Kとの關係をしらないものですからその好意を含んだKの態度に對して感謝の意をあらはす事が出來ず、いつもKを回避するやうな身ぶりをして居りました

…妾はKがきらひではありません、妾の弟妹には親切なので弟妹達は兄のやうにしたつてをりますので、妾もむしろKがすきでしたが、さればと云つて戀を感ずる程はございません、ところが、或る日母から それとなく妾とKとの關係を知らされて、妾は急にKをこひしくおもふ樣になりましたのに、最近になつて彼の妾に對する態度が變つて、妾を回避するやうになり そしてKは妾の妹に對して愛情をしめす樣になりました

…妾の妹は大のフラッパーなので自然Kの心をとらへる樣になつたものとおもはれます。昔のおろかさをくいて毎日小さい胸をいためて居ります。妾の妹と戀をあらそふ事もできません。母はKの愛情が妹にうつた事などは知らないで 妾とKとが一緒になる日を樂みて喜んで居ります。先生妾は一體どうしたらよいでせうか

●惱む女●

答

Kの心をあなたに引き戻す樣お母さんと協力しなさい

…あなたと許婚の間柄でありながら、たとへあなたの態度がどうであつたところが、あなたの妹さんに心情をうつして行つたKの態度は面白くありませんが、しかしこゝにいたつては只彼をせめてばかりもをられない、彼に對するあなたの態度があまり冷たんだつた事にも原因はあるとして彼をゆるして今やうやくあなたの心がこひに戀して來た事を打ちあけてKの心をあなたに引もどす樣あなたは努力すべきだと考へます

…あなたのお母樣は御本人のあなたにさへも あなたとKとの間柄を長い間しらせずにおいた程ですから、もちろん妹さんに話してあるわけはないとおもひます。この際お母樣におねがひして妹さんにもハッキリ話をして了解させなさい。お母樣がもつと早くあなたに打ちあけておけばこんな事がなかつたやうに考へられます。いはばお母樣の失敗の結果ですから、こゝでお母樣にもシッカリ膽をすえていたゞいて、初一念をつらぬく爲に極力あなたと協力しなければなりません

…Kの心が妹さんにむすびついてしまつた、妹さんも又それを受けいれてしまつてゐてどうにもならない状態に、もしなつてしまつてゐるなら、又た考へなほさなければなりませんが、とにかくあなたはお母樣と心をあはせ、力を一つにしてKとあなたとの間柄をまとめる事に努力しなさい

●家庭相談係●

○家庭メモ

電燈をけすとき

電燈を消す時に電球を緩してけすと電球が汚たりその壽命をみぢかくする。スキッチをひねつてけしても大概電氣を要して不經濟だと云ふ樣ではありません

これは困る 花嫁の寢言

—かうすればなほる—

花嫁さんの寢言がもとで離緣になつた——といふ話がありました。同じ寢言でも子供の他愛のない現實の兄弟喧嘩などでしたら可愛らしく、微笑ましいものですが、女學校を出て結婚期をひかへた若い娘さんのうつかりした寢言など[illegible]です

寢言 は一つには遺傳的なものもありますが、もしそれが氣になる人は、ねる前に安眠後の精神に效果のあるほど寢言をいはないやうにしようと注意力を強めておく事、これは明日の朝五時におきねばならぬと緊張してゐればいつも七、八時までねる人でもパッと目がさめると同じやうな一つの精神作用ですそして同時に日常の生活に氣をつけ便秘をさけ、夕飯はなるべくひかへ目にし、就寢前に氣持ちよく

入浴 をするとか、もし寒い日であれば湯たんぽなど或は溫湯に足をつけるといふふうに足部の溫浴をします、これは血液の循環をよくして安眠せしめる事になります、過食をしたり身體が寒かつたりする事が原因で安眠が出來ぬために寢言が多いのです、それからねる前に込み入つたことに頭をつかはぬやう、不愉快なことがあつてもねる前に考へない事、用すべき手紙があつても面倒な返事であれば翌朝にする習慣にしても

讀書 にしても、なるべくおもしろく朗かなひと時をすごす工夫です、刺戟物や手紙など寢る前に頭にのこる樣な事はさける樣にする事です、映畫や芝居も餘り深刻ななみだをながす樣なものやスクリーンがきえたあともひどく憂鬱になつてわかれない樣なものはよくありません、こんなふうにあらゆる注意をはらつて御覧なさい、大抵寢言はなほりませう

食物 も辛子、七味とかの刺戟物、或はアルコール性のものなどは加減することですいやな感じをうける樣な人、自分に好意をもたぬやうな人には接近せぬ事、[illegible]のどこかにハケロを見出してゐると寢言などの中に出て來るものです、御注意なさい

風變りな 面白い壁掛

廢物のたまごのからで誰でも出來ます

うませり作

めつきり春らしくなりました。今日はおもむきの變つた誰にも出來るいかにも春らしい壁掛のつくり方を御紹介いたしませう

■ま■づ、平常から雞卵のからをすてないでとつておきこれをよく水洗ひしてかわかし、小さく一分角くらゐに割つておきます

■次■に、菓子折のふたでも結構、適當の大きさの小形の板をもつて來て、その上に一分くらゐのあつみにパテを平均してのばしてつけます

■パ■テはガラス屋へ行けばわけて賣つてくれます。窓わくにガラスを取りつける時に、まはりの止めにつかはれるのがこのパテです、パテはながく空氣にさらされてゐるとかたくかたまつてしまひますから、買つて來たらすぐに細工しなければいけません

■さ■て、板の上にパテをのばしたならば（あつみは餘く見はからひでよろしいのですがまづ一分ぐらゐのあつみはあつた方がいゝとおもひます）この上に前に述べた卵のからをならべて種々の模様や風景や人物などをあらはすのですが前もつて卵のからには必要とする色だけそめておいた方がよろしい

■つ■け方はパテの上に卵のからをおしつけてうゑて行くのですが、もちろんからの表面の部分が表になるやうにしておきます、すき間なくならべておいてあとから油繪の具などでそめてゆく法もあります

■要■するに、これは卵のからをパテの上にならべてゆくだけで、おもひ〳〵の圖案がゑがき出される、要するに材料が一般的でその上誰がやつてもおもしろい、どこでも、誰でもたのしめるといふところに、この細工の興味があるわけです

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）　村瀨春映（畫）

……組 一〇五……

平和と啞（三）

「さうかも知れないよ。わしの眼からみれば民衆などは鳥や獸けらと同じことさ」

「あなたは、お瀧さんをも、その方法で殺しましたね」

ピコルは、ぐつとまた赤い瀧を吸つて

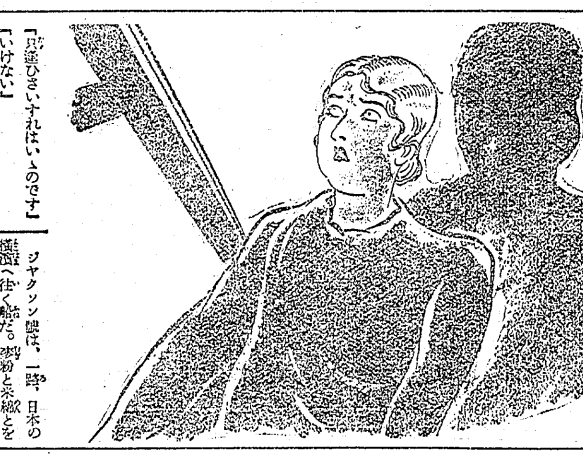
「いや、あの女はちがふ。あのお瀧は、クーパー博士の玩弄物ぢや。わしが勝手にあの女を氣儘にして、此世から消すわけにはいかんよ」

「でも、クーパーさんが、それをやつたでせう」

「ちがふ。博士は、まだ〳〵あの女に未練があるから、それをしない。お瀧は生きてゐるよ」

「では、お瀧さんに逢はしてください」

「何をするンだ」



「只逢ひさいすれはいゝのです」

「いけない」

「どうしてゞす」

「お瀧は、生きてゐるが、元のお瀧ぢやない」

「えッ！では、粟飯原さんと同じやうに！」

「いや、この男のやうな魂の拔殼ではないが、元の身體ではない」

「どうしてゐるンです。お瀧さんは、どこにゐるのです」

「お瀧は、女工さんだ」

「え？」

「地下の研究所の女工さんだ」

「どうして研究所になどゐるんです」

「何のためか、わしにきいても說明はできないね」

「では、あたしを、その研究所へやつてください」

「あんたも？……アメリカの國家のために、働いてくれるといふのかい。それもよからう。しかし、それには資格が要る」

「どんな資格です」

「啞になるのだ」

「えッ——」

エリザは、おもはばまた二三歩後退りした。いよ〳〵聞こゝ、いよく〳〵秘密なピコル一派の秘密工場だとおもつた。

「お瀧は、啞の手術をうけて、立派に研究所の一員として働いてゐるよ。つまり、お瀧は、クーパー博士の愛に殉じて、アメリカのために働くことになつたのだ」

「……………」

エリザは、そのとき奈落の底へ突き落されるやうな、底さびしいものを感じた。

絶望——。それだつた。

× × ×

サンフランシスコを午後三時に出帆する、ピコル汽船會社の貨物船ジヤクソン號に、やつと間に合つたわけだ。

粟飯原を迎へに來た、ヘプバーンが、汗を拭きながら、魂の拔け殼を、やつとこさと乘船さしたとき、それが合圖といはぬばかりにドラが鳴つた。

ジヤクソン號は、一路、日本の横濱へ往く船だ。麥粉と米綿とをいつぱい積んでゐる。その貨物の大部分は横濱と神戸におろされるものらしい。

あたりまへなら、粟飯原ごときは、貨物同樣の扱ひをうけるのだが、そこはヘプバーンがついてゐるので特別待遇。貨物船ながら太平洋航路ゆゑに、贅澤な船室の用意さへある。ヘプバーンと同じく、その船室をあたへられたわけだ。

ところが、その船室には先客があつた。それが何と、泥棒船の船長ボルトメンで、あつたではないか。ピコルにいはせると、ボルトメンとヘプバーンは、多數の部下とゝもに、アリューシヤン列島のG島にゐるのだが、それが、いつのまにか、この貨物船に乘つてゐる。

してみれば、ピコルは出帆日をいつたのだ。でたらめでないまでも、クーパー博士をごまかしたのだ。ヘプバーンは、ピコルの内命をうけ、ボルトメン等とゝもにこのジヤクソン號に乘つて、太平洋を[illegible]してゐたものとみえる。

開院 平病院
平町警察署側（電六四一番）
院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科部長 醫學士 木下基一（近日着任）
內臟外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 醫學士 横山喜俊
產婦人科部長 醫學士 池谷宗三郎
レントゲン科部長 醫學士 横山喜俊
物理的療法科技師 岡田重德
藥劑科部長 藥劑師 吉本孝平
◎診療時間 每日午前八時ヨリ午後九時迄夜間診療ニ從事ス
往診隨時（急患ハ此ノ限リニアラズ）
病室完備……入院隨時【自炊ノ便アリ】

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會隨時 平町田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會 電話一二七番

春物は 是非！ 當店から （在庫豐富）

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

向上の若人は佑賢に學べ
生徒募集
⊠中等科（二年制） 百五十名 補欠若干名 ◇目的—中堅公民養成
⊠專修科（一年制） 百名 ◇目的—各種受驗難關突破
⊠本年度より ◇女子部獨立 女生五十名 ◇商業、簿記科新設 ◇受驗相互研究會特設 ◇教授陣の擴充
⊠各科無試驗入學許可
磐城佑賢學舍
平町城山（電話九三）

カーテンと リノリーム の御用は！ 大谷建材店
平町紺屋町 電話三六六番

新車御披露
花に魁けして優秀三七年式ダツチブラザーズ號及シボレー號が入車致しました、あく迄御客樣本位の奉仕であります。『安全、迅速、切親、正確』が常タクシーのモツトーであります。尚近々中に更に三七年式高級車オルズモービール號が入車致します。是非御試乘御願ひ致します。
平驛前 昭和タクシー 電話六四三番 六四〇番

御贈答に……
鰹節
新發賣 貝燒罐詰
美味 鰹鹽から 干やなぎ
亥問屋
志賀盛榮商店
平町四丁目（電話二一三番）

三井タクシー
平二 電話五八六番

（夜間診療）
胃腸 性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
松村 胃腸 性病 醫院
平町南町（電一〇一七番）

中等教科書 國定教科書 自習各種辭書 各種全科そろい
特賣 パイロット万年筆景品付ネーム入 御入學御卒業記念にアルバム
小學生ランドセル カバン、手提類 和洋帳簿各種
マルトモ柴田書店
平町四丁目 電話（一二三四番）

コールタール販賣開始
一、コールタール一罐（十五キロ入）金九十五錢
一罐ヨリ配達致シマスカラ是非御試シ下サイ
平驛前 阿部石炭商店 電話二二七番

田毎の!!! みつ豆
白蜜と黒蜜
電話六三二番

難波醫院
內科一般
醫學博士 難波睦
看護婦募集
平町大町新川端 電話五〇二番

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
自炊のお需めに應す 入院の便あり

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

花柳病科 外科
木村外科醫院
平町六丁目橋際 電話三〇九

國旗と提灯
タカヤ